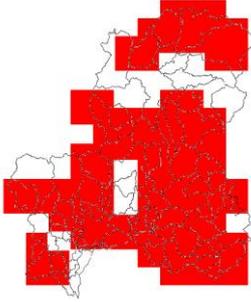


ツチアケビ	<i>Cyrtosia seotentrionalis</i> (Rchb. f.) Garay C.	準絶滅危惧
		ラン科
選定理由	木の伐採や園芸目的の採取圧がある。	写真(山崎玲子) 
形態の特徴	高さは40-100cm。全体が黄褐色で茎以外には毛がある。分枝し、黄褐色の花が多数付く。子房が捻じれないので唇弁は上にくる。先は浅くて4裂する。秋には紅色のウインターソーセージのような果実が垂れて付く。花期は6-7月。	
生態的特徴	山地の樹林下に生える。	
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県ではほぼ全域に分布する。	
減少要因	木の伐採による環境の変化や園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責: 山崎玲子